



## ■ 平成23年度 開放型病院運営管理会議・共同診療会議の開催報告について

2月23日(木)平成23年度開放型病院運営管理会議・共同診療会議が開催されました。浜松医師会からは本間 誠一副会長を初め7名の開業医の先生方に、磐田市医師会からは北原大文副会長に御出席いただきました。御出席いただきました先生方ありがとうございました。

当院からは高橋院長代理、井上、三宅両副院長、各診療科部長始め、計24名の出席があり、主に当院の病診連携システムにつきまして、活発な意見交換が行われました。以下は開業医の先生方からございました御意見と当院からの回答の一部をご紹介します。



・ 昨今、地域連携パスの話題をよく耳にします。各疾患について、紹介の時期や入院適応などを協議できる場があればと考えています。地域連携を密に効率的に実施するためには、貴院の医師の方々との共通の認識を持って治療に望まなくてはならないと思います。

→ 現在、当院では大腿骨地域連携パスを22年2月より運用を開始しております。また、23年10月より5大がんのパスの施設基準の申請を終え、24年度からの本格的運用へ向けて準備中であります。

今後も地域連携パスの適応疾患は広がるのが考えられ、当院としても開業医の先生方との共通の認識を持つことは不可欠であると考えており、議論の場を設けることについては、今後の重要課題として取り組んで参ります。

・ 浜松労災病院の専門外来の情報を教えてください。

→ アスベスト外来、ペースメーカー外来、禁煙外来、漢方外来等がございます。当院の特徴的な取り組みについては、当院の広報誌ろうさいニュースやホームページなどを通じて情報を配信しており、今後も積極的な情報発信に努めて参ります。

・ 消化器内科の充実を希望します。

→ 消化器内科常勤医師確保につきましては、地域医療体制のためにも、当院の緊急課題として取り組んでおります。御迷惑をおかけいたしますが、今しばらくご猶予をお願いいたします。



・ 診療科によっては、診療情報提供書の返事が届かないことがあります。

→ 当院では、診療情報提供に対して必ず返書するよう医師に対して指示をしており、地域医療連携室において返書の管理をしております。今後、返書の重要性を各医師に再度周知すると共に、返書漏れののないよう、管理を強化して参ります。



・ 二次救急当番日にお願いしても、断られたり、診療までに時間がかかるので他院へと言われたことが何度かあります。

→ 二次救急当番日は、基本的にすべて受け入れることとしております。ただ、常勤医師不在の眼科、耳鼻科などにつきましては、バックアップ施設をお勧めするほか、共同で当番を行っている浜松赤十字病院や他院をお勧めすることがあります。

また、救急の重症患者対応中につきましては、まれに対応ができないことがあり、御迷惑をおかけしております。今後、このようなことがないよう体制の充実を図っていきたいと考えております。

・ 17時以降の受付や土曜日等も対応いただければ助かります。

→ 現在、地域医療連携室は月～金の平日の8:15～18:00まで対応しております。また、18:00以降の夜間、土、日、祝につきましては、紹介状の受付は事務当直室でも行っております。

今回の御意見を受けまして、土曜日の予約受付業務も開始するよう早急に準備を進めております。その他、御不明な点がございましたら、当院、地域医療連携室まで遠慮なくお問合せいただければ幸いです。

・ 新患、再来にかかわらず、救急受診時の医療情報を簡単にいいから、正確に患者に持たせてほしい。

→ 今後、紹介または逆紹介の際には、可能な限り、検査結果を添付するようにいたします。



・ 他院では、老健施設や居宅サービス提供者を対象に、定期的に勉強会やミーティングが開催されています。双方のコミュニケーションが図れる上、医療情報を入手することができ、重宝しております。貴院におかれましても、ぜひ開催をお願いします。

→ 老健施設や居宅サービス提供者の方々を対象とした勉強会につきましては、多くの機会を提供できるよう努めてまいります。また、ミーティングの開催につきましても、前向きに検討してまいります。

# 浜松労災病院 診療科紹介（その4）

## ・ 整形外科

特色	<p>現在、静岡県唯一の労災病院として労働災害医療・勤労者医療を担うとともに、24時間の救急体制で地域医療にも取り組んでいます。外傷をはじめ脊椎疾患、関節疾患、手の外科、スポーツ障害、骨粗鬆症など整形外科疾患のすべてを対象とし、また11名の理学療法士、作業療法士と協力し、入院から退院後の社会復帰までの一貫したリハビリテーションも充実させています。</p>			
手術	<p>平成23年1-12月の総手術件数は624件で、疾患別では骨折・外傷、脊椎、関節、手の外科、関節鏡が上位を占めています。病院の性格上、新鮮外傷例が多く二次的障害を防止する目的で可能な限り即時に一次修復と必要に応じた再建術を行い、労災病院の使命である災害医療体制を一般外傷治療にも取り入れています。</p>			
スタッフ	部長	コウモト 河本	マサアキ 正昭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本整形外科学会専門医</li> <li>・ 日本整形外科学会脊椎脊髄外科医</li> <li>・ 日本整形外科学会スポーツ医</li> <li>・ 日本整形外科学会リウマチ専門医</li> </ul>
	救急部長	ナカヤマ 中山	イチロウ 威知郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本整形外科学会整形外科専門医</li> <li>・ 日本整形外科学会脊椎脊髄外科医</li> <li>・ 日本整形外科学会スポーツ医</li> <li>・ 日本整形外科学会リウマチ専門医</li> <li>・ 日本脊椎脊髄病学会指導医</li> </ul>
	勤労者 脊椎・関節 センター長	マツムラ 松村	タクロウ 拓郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本整形外科学会専門医</li> </ul>
	医師	トミナガ 富永	トモヒロ 智大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本整形外科学会専門医</li> <li>・ 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医</li> </ul>
	医師	ミヤケ 三宅	タカヒロ 孝宏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本整形外科学会専門医</li> </ul>
	医師	タバ 田場	ツヨシ 健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本整形外科学会専門医</li> </ul>

## ・ 形成外科

特色	<p>形成外科は「身体表層の外科」です。形成外科が目指しているのは、先天奇形やあざ、けがや手術の傷あと、ケロイドなどの身体表層の異常に対し、外科的治療によって機能的な改善を図るとともに、外見上もできるだけ目立たなくして、自然な美しさを取り戻し精神的な悩みを取り除くことです。ほとんどの治療は健康保険が適用されます。是非一度ご相談下さい。</p>			
対象疾患	<p>熱傷、顔面外傷、唇裂、口蓋裂、四肢の先天異常、その他の先天異常、母斑、血管腫、良性腫瘍、悪性腫瘍と再建、瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド、褥瘡、難治性潰瘍、レーザー治療、その他</p>			
スタッフ	副院長	イノウエ 井上	クニオ 邦雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本形成外科学会専門医</li> <li>・ 日本熱傷学会専門医</li> <li>・ 日本職業・災害医学会「労災補償指導医」</li> </ul>
	医師	フクハラ 福原	サダコ 定子	
	医師	オザキ 尾崎	ユウジロウ 裕次郎	

### ■ 平成24年2月分 紹介関係件数等

1. 紹介件数 480件 (23年度累計 5,560件)
2. 救急搬送件数 278件 (23年度累計 2,846件)
3. 紹介率 75.2% (23年度累計 74.6%)
4. 逆紹介件数 327件 (23年度累計 4,173件)
5. 逆紹介率 38.5% (23年度累計 44.0%)
6. 共同診療件数 10件 (23年度累計 50件)

独立行政法人 労働者健康福祉機構

## 浜松労災病院

地域医療連携室

〒430-8525

浜松市東区将監町 25

TEL 053(411)0366 FAX 053(411)0315

月～金 受付時間 8:15～18:00